

袁世華 会長挨拶

日中笹川医学研究者制度在日経験者連絡会（略称：在日笹川連絡会）は日本に滞在している日中笹川医学研究者制度同窓生の相互連絡と相互支援、ならびに日中両国間の有効と医学交流の促進に寄与するために、2006年4月設立されました。

私は第2期生として1988年来日し、日本滞在期間はすでに20年になりました。韓晶岩前会長が北京大学医学部教授に就任、帰国されましたので、このたび私が微力ながら会長を務めさせていただくことになりました。今後は、日中医学協会の熱心なご指導と日本財団の多大なご支援のもと、本会役員・会員が力をあわせて、日中両国間の友好交流・医学学術交流の促進、および両国の医学・医療の向上に貢献できますよう努力してまいります。

同窓生の出身地や専門分野、年齢や滞在期間は様々ですが、各々は日本において研鑽し大きく成長して、現在医学・医療各界で活躍しております。私どもが将来に向けて果たすべき責任は大きいと感じております。

日中医学協会、日本財団および笹川記念保健協力財団の皆様のご努力のお陰で、日中笹川医学研究者制度はこれまで順調に発展してきました。私どもは、これまで支えてくださった皆様のご恩を忘れず、日本と中国のためになることをひとつずつ積み重ねて行かなければなりません。

私どもは同窓生のネットワークの強化に努めます。まず在日同窓生の連絡を密にして情報交換を行い、さらに中国の同窓会本部および世界各地に分散している同窓生との連携を推進して、世界規模のネットワークを立ち上げます。同窓生2,000名は多士済々、人脈は世界に広く行き渡り、その影響力は大きく、私どもは多くの社会貢献を目指して手を携えて行きたいと思っております。

本会の活動に深いご理解を賜り、皆様お一人お一人のお力をお貸し下さいますようお願い致します。